

福祉

曾野木地区

七味の会

目的

○世代交流をとおして、豊かな長寿社会の実現と安心して生活できる地域をつくること

活動について

「合言葉 ～できる人が、できる時に、できる事を～」

「七味の会」は昭和30年3月にできました。「七味」とは「愛、和、優しく、美しく、明るく、豊かに、思いやりの心」を意味し、七つの心で活動をしようというのが、名前の由来です。

<主な活動>

- ・ふれあい給食
手作りのお弁当を一人暮らしのお年寄りなどに届けます。土曜日には、中学生と一緒に届ける交流宅配もしています。
- ・世代交流
年1回、児童から高齢者までが公民館に集まりレクリエーションや昼食会を楽しみます。
- ・友愛訪問
地域の老人施設への訪問や支援をします(おむつたたみ、散歩、納涼祭参加)また、一人暮らしのお年寄りへの安否確認もおこないます。

参加者の声

- 長く続いているのは、優しい気持ちのある人が多いからだと思います。そして、お互い喜びを分かち合えるからでしょう。「ふれあい給食」は地域の農家から食材を提供してもらい、献立に季節のものを取り入れるなど、工夫をしています。ただ、会員が高齢化してきていて、車に乗れる人が少なくなっています。(会員歴 20年)
- 昔あそびの「お手玉」で、おばあちゃんは3つでやっていたけど、私は2つでしかできませんでした。とても楽しかったです。来年も参加したいです。(曾野木小3年)
- おばあちゃんに「手を貸して!」と言われ、手を引いて目的地へ送ると「ありがとう」と言われました。ほんの些細なことなのに、ありがとうと言われてとても嬉しかったです。助け合うことの大切さを感じました。(曾野木中1年)

主催団体

七味の会



交流宅配



世代交流会

福祉

亀田西小地区

いきいきサロン 「ころころ53区」

目的

- 引きこもりを防止すること
- 地域の世代を超えた交流をすること

活動について

冬場の引きこもりを防止したいということから、平成12年12月からはじめた多世代交流サロンです。「こんなことノート」という参加者の感想や要望を記入するノートをつくり、参加者の意見を取り入れながら作ってきました。

参加者は、高齢者や育児中の母親、夏休みの小学生など様々で、年間約1,200名が利用しています。利用料は1回200円です。

最近では、看護大学生・医学生の社会勉強の場や特別支援学校の体験学習の場ともなっています。

<主な内容>

お茶のみ、おしゃべり、エアロビクス、リズム体操、お弁当会(お汁はスタッフが用意、漬物等は参加者お任せ)

参加者の声

- 夏休み中に遊びに来ていた小学生:「楽しかった〜!!」、「また来週も来ま〜す」
- 江南区外から4世代で参加している方:「昼寝の都合で午前中のサロンが利用しやすい」、「区外からの参加者にも楽しめる」、「春と秋の日帰り温泉が待ち遠しい」、「0才からの参加者、利用者が集まるので話が広がる」、「普段の生活の中になく体験ができる」

主催団体

いきいきサロン「ころころ53区」



まちづくり

亀田小地区

ふれあいの駅 よりなせ家

目的

- 多世代間の交流の場を提供し地域の繋がりを強めること
- 本町商店街の活性化に寄与すること
- 高齢者の引きこもりを防止すること

活動について

亀田「3・9」の市にあわせて開設しボランティアスタッフにより運営されています。誰でも気軽に立ち寄り、お話しをしたりお茶を飲んだり、ホッとした時間を過ごしていただける場所です。

多くの方に知っていただき利用していただくため、下記の催し等を行っています。

- ・専門家を迎える福祉相談(毎月第1回開催日)
- ・ミニコンサートの開催(随時)
- ・作品展示ギャラリー(2か月に1回程度)

現在運営のためのボランティアスタッフを募集しています。

<主な利用実績>

- 平成23年度 471人
- 平成24年度 コリナコンサート 約30人
- 平成24年度 写実絵画亀田5人展 約190人(2日)

参加者の声

- 出かける場、立ち寄れるところがあって生きがいに。
- 思いがけない人と出会えることがあって嬉しい。
- 介護相談日が月に1度あり、大変参考になる。

主催団体

亀田小学校区コミュニティ協議会



まちづくり

亀田東小地区

袋津まち歩き

目的

- まち歩きを通して地域の伝統や魅力を継承しPRすること

活動について

古くから織物の街として栄えた亀田地区袋津は、狭い小路が多く、来訪者にはわかりにくい街並みから「迷路のまち」と称され、タクシーの運転手さえ迷わせる地域です。

そのような街の特徴を逆手にとってガイドを付けて案内するまち歩きを平成16年から行っており、平成19年にはまち歩きマップも作成しました。

最近では、水と土の芸術祭市民プロジェクトや地元の祭礼の他、地元小学校とも連携してまち歩きを実施しています。

参加者の声

- 今年転居して来たばかりなので、地域を知るために参加しました。道が狭く運転しにくいけれど、街並みには古い蔵や、板塀などが残る風情を感じさせる街だと思いました。夏のお祭りも楽しみです。(袋津在住 20代 主婦)
- 迷路の街と言われるだけあって、小路が多くそこに入り込んだらなかなか大変だなと思いました。ブロック塀に車が擦った跡などあり、一人で夜に来たら大変なことになりそう。(中央区 50代 女性)
- マップが素晴らしい。また歩いてみたい。(一人じゃ不安だけど…)(中央区 40代 女性)
- 亀田に嫁いできて約30年。普段何気なく通っている道や風景にも様々な歴史があることを知りました。子供たちにも伝えてほしいし、私もいろんな人に伝えて行きたいと思いました。(江南区 50代 女性)

主催団体

かめだ学会(市民団体)
亀田東小学校区コミュニティ協議会



江南区自治協議会提案事業

市民活動見本市プロジェクト

江南区内の市民活動紹介

江南区内では様々な市民活動が行われています!



イベント

- 大江山地区 「大江山縄文市」
- 早通小地区 「賽の神」
- 両川地区 「小阿賀野川で舟下りin両川」
- 横越地区 「床固め公園 チューリップまつり」

まちづくり

- 亀田東小地区 「袋津まち歩き」
- 亀田小地区 「ふれあいの駅 よりなせ家」

福祉

- 曾野木地区 「七味の会」
- 亀田西小地区 「いきいきサロン ころころ53区」

イベント

大江山
地区

大江山縄文市

目的

- 地域の文化遺産をまず地域で再発見し、多くの地域民・市民と一緒に広めること
- 地域の各層、世代を超えて交流し、協働の風を培うこと

活動について

平成9年に新潟市江南区笹山地区で今から6,500年前の縄文前期の土器・漁労具等が出土しました。ほとんど完形で出土した笹山前土器(高さ23センチ)は、新潟市の水田地帯のものとしては価値があります。この歴史的遺産を地域の方々や子ども達に伝えるため、また地域の交流の場をつくるために、様々な形で縄文時代を体験できる新しい形のお祭りを平成19年より、体育の日に始めました。

<開催日>体育の日 10時~15時30分
<場 所>大江山公園(江南区笹山)
<内 容>縄文体験(土器づくり、火起こし、古代米餅つき等)、出店コーナー(地域の野菜、フリーマーケット等)、縄文衣コンクール等
<参加者>1,500~2,000名

参加者の声

- 火を起こすことができると理屈では知っていましたが、実際、火が麻の糸に付いたときは感動でした。押すだけで飲み物が出てきたり、スイッチでお湯が沸いたりする「手」だったんだと思うと感無量です。(19才 女性 専門学校生)
- 土器を作ったり古代米の餅つきに参加してチョーおもしろい日でした。(11才 男子 小学生)
- 縄文の服を着た人から昔のお家(縄文の家)で聞いた昔話は、じょーずにおもしろく語ってくれました。こういう祭りは赤ちゃんから年寄りまで楽しめる古くて新しい企画です。役員のみなさん、ご苦労様です。(61才 女性)

主催団体

大江山コミュニティ協議会(大江山縄文市委員会)



イベント

両川
地区

小阿賀野川で 舟くだりin両川

目的

- 自分の住んでいる地域を知り愛着を持つこと
- 地域の方との多世代交流を深めること

活動について

この催しは、平成23年度から両川地区コミュニティ協議会が、福祉団体や地元の方、舟くだりを行う「小阿賀野未来の会」などの協力を得て行っているものです。内容は、地元を流れる小阿賀野川を舟で下り、川から普段住んでいる場所を眺めながら、地域の方による歴史や方言などの話を聞きます。舟くだりは約2時間です。

舟くだりが終わった後は、JA新潟市女性部両川支部の皆さんが作った昼食を食べ世代を問わず交流を深めます。

また、開催日を地元のイベント「ゆめまつり酒屋」と同日にし、参加者にイベントで使える券を発行するなど連携することにより相乗効果を図っています。

参加者の声

- 野球部の人々とオールを漕いで楽しかった。(小学校5年生 男子)
- 最初に川を見たときは、結構流れが有ると思いましたが、舟に乗ってみると意外と舟は進まず、周りの景色を見ながらのんびりとした時間を過ごすことが出来ました。(40代 男性)
- 川にはまだ自然が残っており、舟からSLばんえつ物語号も見ることが出来て有意義な時間でした。(60代 男性)
- 少し暑い日でしたが、孫世代の小学生と楽しく時を過ごせました。また舟から汽車も見られて良かったです。(60代 女性)

主催団体

両川地区コミュニティ協議会



イベント

早通小
地区

さい 賽の神

目的

- 地域の伝統行事を復活させ継続すること
- 町内交流の促進により地域の一体感を醸成すること
- 子供達の地域への帰属意識を醸成すること

活動について

- 地域住民が楽しみながらの町内交流と無病息災の神事をあわせ実施しており、平成21年から毎年1月上旬の祝祭日に実施しています。
- 事前準備として、前年11月にヨシを刈り、乾燥させておき、行事当日の午前中に役員約20名で賽の神本体を造り上げます。
- 午後3時に賽の神に点火し、スルメ等を燃やしながら無病息災等を祈ります。
- 年々盛況になっており、近年はあらかじめ用意したスルメが不足気味となるほどです。
- スルメの竹への取付けは、小学生の自立心や協調性高揚を図るため、小学生に担当させています。

参加者の声

- 老若男女の世代交流が、賽の神行事を通して可能となっており、満足感を覚える。
- 準備段階での仲間作りができるし、実家に戻ってきた人との旧交も温められて良い。
- 大人の知恵・ノウハウがこの行事により子供達に引き継がれていくものと思っている。
- 賽の神が珍しくて、友達一杯参加し、一緒に楽しんで良い。(子供達)
- この活動を少しでも構成自治会に浸透させるため、会合を各自自治体持ち回りで開催するなどの工夫をしている。

主催団体

早通小学校区コミュニティ協議会



イベント

横越
地区

とこがた 床固め公園 チューリップまつり

目的

- 多世代間の交流の場を創出し、地域の一体感を醸成すること
- 地域の特産品であるチューリップをPRすること

活動について

この催しは、合併前から地元の住民を中心に、長年手作りで開催されているイベントです。実行委員会で何度も打ち合わせ会議を行い、当日の運営はもちろんのこと、チラシやポスターを作成し、配布・掲示なども行っています。

<開催日>4月下旬
<場 所>阿賀野川床固め公園(江南区沢海)
<内 容>イベント(横越中学校吹奏楽部の演奏、よさこい演奏、ダンス披露)
飲食物販(手打ちそば、川ガニ汁、地元の野菜を使った焼きそば等)
フリーマーケット
<参加者>スタッフ50人、中学生ボランティア20人、出演者200人、来客約1,500人
※例年のおおよその人数

参加者の声

- 大人だけでなく大勢の地元中学生がスタッフで頑張っていて、地域の一体感を感じる。
- ダンスは参加者も観客も多くて驚いたし、満開のチューリップが場を華やかにしていた。
- ありきたりな飲食物だけでなく、そばや川ガニ汁など珍しいものがあり楽しめた。

主催団体

横越コミュニティ協議会



江南区自治協議会が行う この事業について

みなさん、区自治協議会を知っていますか？

区自治協議会とは、分権型社会の実現に向けて、市民と行政との協働による住民自治の推進を図るために、地方自治法に基づいて各区ごとに設置されている市の付属機関です。

江南区自治協議会は、各地区のコミュニティ協議会や公共的団体の代表者、学識経験者や公募委員など定員30人の委員で構成されています。

区自治協議会が主体となり事業を行っています！

区自治協議会は、「区自治協議会提案事業」として、複雑・多様化する地域課題に対し、市民力・地域力を活かしたまちづくりを進めるため、自らが主体となり、事業を企画提案して取り組んでいます。

江南区では「未来につながる元気の芽を育てる」「区内各地をつなぐ仕掛け・仕組みをつくる」「区内の一体感を創出する」大きなテーマとしており、それを実現するため3つのプロジェクトを展開しています。その1つがこのプロジェクトです。

プロジェクトを通して目指すことは？

このプロジェクトでは、「地域の声を吸い上げ・届ける」ことを目的としています。

区内各地で行われている市民活動を紹介することで、その内容を多くの人に知ってもらうだけでなく、他地区の活動について知り、自分たちの地区の活動に還元することも目指しています。

お問い合わせ 《この取り組み及び各地区の活動団体への取次ぎ》

新潟市江南区役所地域課

TEL:025-382-4619

E-mail:chiiki.k@city.niigata.lg.jp